

○令和8年9月7日～9日 総合防災対策特別委員会の県外行政視察を行いました。

総合防災対策特別委員会では、「災害時における防災体制の強化について」及び「地震・津波対策とため池の防災対策について」を調査事項として、東京都、栃木県、群馬県、埼玉県において5カ所の視察を行い、事業概要について説明を受け、施設等の視察を行うとともに質疑を行いました。

番号	視察箇所	場所	調査内容
①	東京港建設事務所高潮対策センター、辰巳排水機場、防潮堤整備状況	東京都	東京都の海岸保全施設整備計画について説明を受け、地震や台風への対策の強化として水門や陸閘の遠隔制御化の取組について、現地を視察しながら、質疑を行いました。
②	栃木県危機管理センター	栃木県宇都宮市	大規模な災害や危機事象が発生した際の取組や、即時応援県における応援体制、危機管理体制について説明を受け、センターの施設を見学しながら、質疑を行いました。
③	栃木県防災館	栃木県宇都宮市	災害時に適切な行動に結びつけるための映像を視聴した後、地震体験、大風体験、煙迷路体験、大雨体験等の様々な災害体験を視察しながら、質疑を行いました。
④	群馬県薮塚西部地区	群馬県太田市	湛水被害を未然に防止するための調整池の造成や排水路の整備について説明を受け、現地を視察しながら、質疑を行いました。
⑤	道の駅「べに花の郷おけがわ」	埼玉県桶川市	「防災道の駅」の先行事例として選定された施設で説明を受け、マンホールトイレ、非常用電源、備蓄倉庫等の施設を視察しながら、質疑を行いました。



① 高潮対策センター



① 防潮堤整備状況



② 危機管理センター



③ 栃木県防災館



④ 群馬県
薮塚西部地区



⑤ 道の駅べに花の郷
おけがわ